

調 査 意 見 書

受理番号 106-180		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	3	右欄下	ライティングのアイコン	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該アイコンが図書内に示されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
4	22		過去形 (be動詞) 他：30ページ過去進行形, 52ページ副詞の働き・形容詞の働き, 64ページ前置詞の後にくる, 102ページ継続・完了, 118ページ過去分詞, 130ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			who及び67ページ英文のしくみ2 (全体), 105ページ英文のしくみ3 (全体), 及び73, 140, 141ページのYour Turn! (全体)			
5	23	Exercise B	対話例 他：31, 41, 53, 65, 83, 93, 103, 119, 131ページのExercise B	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
6	31	Exercise B ③	Shun /	生徒にとって理解し難い表現である。 (指示文「③はあなたが」との対応)	3-(3)	
7	49	Pair Talk	対話文 他：61, 79, 89, 99, 115, 127ページのPair Talk	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
8	71	脚注	O: Hey, you can't do that! H: Why not? I'm not going to eat your eels. I just want to smell them.	不正確である。 (丸印)	3-(1)	
9	89	脚注4行	MVPの強勢表記	表記が不統一である。 (117ページ脚注2行NP0の強勢表記との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-181		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	21	脚注 3 行	10 provide...for～	誤記である。 (行数)	3-(2)	
2	22	全体	Summary1, 2(全体) 他: 36, 50, 64, 84, 98, 112, 126, 140, 154 ページのsummary1, 2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
3	32	中段	Do you know any song with the word “fireflies” in it?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	
4	33	6 - 7	They flash light when they look for food. The light attracts small fish.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	45	側注 2 行	Major Leagueの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
6	48 上段		developing country	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (イラストとの対応)	3-(3)	
7	48 中段		What do you think of these words?	英語の現代慣用によっていない。 (these words)	固有 2-(1)	
8	49	側注 1 行	major leaguerの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
9	49	2	It has come true.	英語の現代慣用によっていない。 (1行目Yoshida's childhood dream was to be a major leaguerとの対応)	固有 2-(1)	
10	60		Can you think of any example of mitate in Japanese culture?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-181		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	63	側注 1 行	social media	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
12	94	上段	24 days	表記が不統一である。 (twelve daysとの対応)	3-(4)	
13	96	中段	What are some unnecessary things you have bought before?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	100	中段 Listen and Answer	Did the people in Groups A buy more unnecessary food?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	109	11	The day when humans also become plastic victims will soon come. 他：108ページGrammar4行	英語の現代慣用によっていない。 (plastic victims)	固有 2-(1)	
16	111	写真 (真ん中)	THE OCEAN CLEANUP	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
17	111	脚注 1 行	3 aim to do 他：8 so far, 10 without doing	誤記である。 (行数)	3-(2)	
18	121	側注 3 行	fish and chipsの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
19	125	グラフ 右上	大西洋タラ 東カナダ沖漁獲量推移	学習上必要な出典年次が示されていない。	2-(11)	
20	129	1 Scene3 1行	減少する太平洋クロマグロの数についてペアで話し合しましょう。	相互に矛盾している。 (同ページグラフとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-181		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
21	135	5 - 6	the national high school esports tournament	不正確である。 (固有名詞)	3-(1)		
22	137	グラフ 真ん中	eスポーツの観客の推移	不正確である。 (出典との対応)	3-(1)		
23	139	3	Can you think of any reason, Mr Yoneda?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)		
24	149	8	Sustainability and kimonos are connected in my opinion.	英語の現代慣用によっていない。 (opinion)	固有 2-(1)		
25	149	14	She adds laughing,	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
26	153	5	She explains this change in career	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
27	181	16	his balls often went over a net	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)		
28	181	20	because of Yoshida's balls	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
29	183	8	Japanese people ate tuna for sushi too much	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	2-3	Map of the Textbook	各Lessonの各技能アイコン	生徒にとって理解し難い表現である。 (Map of the Textbookの各アイコンと本課との対応)	3-(3)	
4	6-7		Speakingにつなげる英語の効果的な練習方法(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (実際のコミュニケーションとの対応について)	3-(3)	
5	7		サイト・トランスレーションの活動及び説明	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に、又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	31	Organizer4行	its () creates	生徒にとって理解し難い表現である。 (代名詞が何を指すのか不明確)	3-(3)	
7	37	大問 B1-2行	discussing with your group about the situation	英語の現代慣用によっていない。 (about)	固有 2-(1)	
8	38		G-2進行形 他) 56ページG-3関係代名詞, 74ページG-2受動態, G-3助動詞+受動態, 92ページG-1SV0+to不定詞, 110ページG-2過去完了, 128ページG-2仮定法過	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			去完了, 146ページG-2関係副詞, 164ページG-3比較の表現			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	39		Speaking Strategy ①, Reading Strategy ② 他) 57ページWriting Strategy ①, 75ページListening Strategy ③, 93ページSpeaking Strategy ②, 111ページSpeaking Strategy ③, 129ページListening Strategy ④, Writing Strategy ③, 147ページSpeaking Strategy ④, 165ページ Speaking Strategy ⑤, Reading Strategy ⑤,	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
			183ページReading Strategy ⑥			
10	39		Reading Strategy ② (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (オーガナイザーとディスコースマーカーについて)	3-(3)	
11	41	Comprehension 問 1. a.	a various kinds	英語の現代慣用によっていない。 (a)	固有 2-(1)	
12	47	Comprehension	FQ4. 他) 87ページFQ. 5, 103ページFQ. 5, 155ページFQ4., FQ5.	生徒にとって理解し難い問いである。 (凡例との対応)	3-(3)	
13	55	5	Powdered Japanese () (). のピリオド 他) 14行New York., 69ページ Organizer表左2段food waste., 3段 has done., 126ページ大問A Part 3の	誤記である。 (不要なピリオド)	3-(2)	
			タイトルeffectively. のピリオド			
14	55	15	Matcha has many () for us to enjoy it!	英語の現代慣用によっていない。 (it)	固有 2-(1)	
15	60 - 61	写真	Universal Bakes Nicome (ユニバーサル ベイクス ニコメ), ビストリーナ デイオ	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
16	61	Listening	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
17	65	Retelling	①のイラスト	生徒にとって理解し難い図である。 (イラストが何を表しているのか理解し難い。)	3-(3)	
18	76	12 - 13	cook them into recipes	英語の現代慣用によっていない。 (into)	固有 2-(1)	
19	91	下段	大問B 他) 163, 181ページの大問B	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すことや書くことの指導に当たっては…やり取りや発表, 文章などの具体例を示した上で, 生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
20	120	右下	グラフ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
21	127	5 - 7	How to make frozen eggs...before eating.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
22	137	Comprehension問3.	Mira-ori	表記が不統一である。 (本文11行との対応)	3-(4)	
23	163	大問A 表2行	riding bike	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
24	182	大問A	Heatstrokeの英文	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (熱中症の応急処置について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
25	192	右上表	Alternative spelling(s)の5段 bat, cap 他：6段above, 9段casual, influence, 13段play, 15段voice, 右下表3段part, arm, 10段flower, 193	相互に矛盾している。 (Alternative spelling(s)の例として相互に矛盾)	3-(1)	
			ページ表1段pot, 2段build, bottle, 8段violin, 9段tooth, throw, 10段this, these, 15段home, house, neighborhood, 24段yacht, York			
26	194 - 203	下段	Exercise (全体) (10箇所)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-183		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)	
2	18	G1	Let's Think(全体) 他：G2, G3, 34ページ(3箇所), 52ページ(3箇所), 74ページ(3箇所), 92ページG2, 108ページG1, 126ページG1, G3, 142ページ(2箇所)のLet's Think(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げおらず、また、用語や用法の指導に偏ることがないよう適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)	
3	64	下から 2行	The Ocean Cleanup sunglasses	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	103	Tips3 行	encourageの発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)	
5	112	5	climbing mountains aged 10	英語の現代慣用によっていない。 (aged 10)	固有 2-(1)	
6	126	G2	Let's Think(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
7	140	表2.	What some other agencies are involved?	英語の現代慣用によっていない。 (some)	固有 2-(1)	
8	161	G2	不定詞の受け身(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
9	174	中欄19 行	native speakerの発音表記 他：175ページ左欄23行professorの発音表記	不正確である。 (語末の発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-183		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
10	182	右欄30行	povertyの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)		
11	198	Kimono	Coming-of-age Day	誤記である。 (age)	3-(2)		
12	214	右上表	Alternative spelling(s)の5段bat, cap 他：6段above, 9段casual, influence, 13段play, 15段voice, 右下表3段part, arm, 10段flower,	相互に矛盾している。 (Alternative spelling(s)の例として相互に矛盾)	3-(1)		
			215ページ表1段pot, 2段build, bottle, 8段violin, 9段tooth, throw, 10段this, these, 15段home, house, neighborhood, 24段yacht, York				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-184		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活	2-(1)	
				動。」)		
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝	2-(1)	
				える活動。」)		
5	12	囲み	rightの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
6	17	COMMUNICATE	② 他：19, 25, 27, 33, 35, 43, 45, 51, 53, 59, 61, 71, 73, 79, 81, 87, 89, 91, 97, 99, 101ページの②	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
7	20	SKILLS	looksの下	不正確である。 (丸印がない。)	3-(1)	
8	28	FOCUS ①	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-184		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	32	側注4行	exactlyの発音表記	表記が不統一である。 (126ページ左欄4行exactlyの発音表記との対応)	3-(4)	
10	37	ACTION 4行	The dog is doing shampoo	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	54	SKILLS	bのイラスト	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (唇を突き出して発音しなければならないと誤解するおそれ)	3-(3)	
12	62	FOCUS ③	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
13	66	大問2	書くことのアイコン	相互に矛盾している。	3-(1)	
14	67	大問4	やり取りのアイコン	相互に矛盾している。	3-(1)	
15	75	ACTION	crab sticks, is a serendipity.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	81	COMMUNICATE5 行	any other symbol	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
17	103	TRY 3 ②	can't take] safe water	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)	
18	104		2受動態(全体)及び3分詞(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-184		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
19	110 - 115		本文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
20	111	右1行	The distance 他: 3行The radius, 4行The mass, 5 行The temperature	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
21	111	右欄5 行	- 2 5 °C ~ 3 0 °C	誤記である。 (スワングダッシュ)	3-(2)	
22	120	母音	/ɑ:r/ 他: /ɔ:r/	相互に矛盾している。 (見出しとの対応)	3-(1)	
23	122	右欄19 行	attractの発音表記	不正確である。	3-(1)	
24	127	中欄28 行	heartwarmingの発音表記	表記が不統一である。 (左欄下から6行guardの発音表記との対応)	3-(4)	
25	130	右欄下 から3 行	peacockの強勢表記	表記が不統一である。 (右欄下から8行pastimeの強勢表記との対応)	3-(4)	
26	131	右欄27 行	reasonableの発音表記	不正確である。 (母音の発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-185		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活	2-(1)	
				動。」)		
5	10	Try1	bのイラスト	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (唇を突き出して発音しなければならないと誤解するおそれ)	3-(3)	
6	11	Try3	looksの下	不正確である。 (丸印がない。)	3-(1)	
7	58	側注5行	skillfullyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
8	80	脚注2行	genreの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)	
9	130 - 135		本文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-185		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
10	131	右1行	The distance 他：3行The radius, 4行The mass, 5行The temperature	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)		
11	131	右5行	-25℃～30℃	誤記である。 (スワングダッシュ)	3-(2)		
12	140	母音	/ɑ:r/ 他：/ɔ:r/	相互に矛盾している。 (見出しとの対応)	3-(1)		
13	151	最下行	van Gosh	誤りである。 (スペリング)	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。(内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)	
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。(内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。(内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	7	下段	アイコン 話すこと(発表),話すこと(やり取り)	相互に矛盾している。 (9ページ上段 アイコンとの対応)	3-(1)	
5	9	右欄下	Writing Lesson10 発表することができる 他:161ページ下から1行	表記が不統一である。 (アイコン(Writing)との対応)	3-(4)	
6	13	Focus	Check the language focus and try using it. 他:各レッスンのFocus	生徒にとって理解し難い表現である。 (the language focus)	3-(3)	
7	17	Vocabulary	1. the latest time that still shows you the sun low in the sky	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	17	Vocabulary	4. the outer or top part or layer of something	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	21		1と2のアイコン (WritingとSpeaking(発表)) 他:各レッスンのExercises for communicationの1と2	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)	
10	21	3	with expression 他:21ページ13行with expression, 各レッスンのExercises for communicationの1と2	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	
11	21	2③	I am sure (studying/ at/ is/ he/ cooking/ home)now.	英語の現代慣用によっていない。 (studying)	固有 2-(1)	
12	22		3. Present your opinions in front of the classのアイコン (Writing) 他:各レッスンのcommunication Activitiesの3	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)	
13	27	Vocabulary	3. the ruler of a group of nations called an empire	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	27	下から 4行	I can sleep for hours.	相互に矛盾している。 (27ページ下から7行Talk about your special skillとの対応)	3-(1)	
15	32	14	in billions	不正確である。 (単位)	3-(1)	
16	40	12	engineer	相互に矛盾している。 (40ページ最下行 engineerの●との対応)	3-(1)	
17	45	Vocabulary	2. to push something like a knife into something	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	47	下から 6行	Is there any reason to keep playing it?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
19	49	17	3. Alice had already been famous when she turned 18 years old.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
20	57	Question2	B He began making more of them to sell.	相互に矛盾している。 (to mass-produce the flakesとの対応)	3-(1)		
21	62	側注2行	whetherの発音表記	不正確である。 (子音)	3-(1)		
22	62	側注15行	networkの強勢表記	不正確である。	3-(1)		
23	74	4	happened	不正確である。 (●との対応)	3-(1)		
24	75	下から4行	3 Should all high school students have at least one club activity?	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)		
25	80	10	Violence can cause damage and stains to their elegant clothes 他：86ページPart2 8行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
26	81	Comprehension 2	① What did sapeurs believe that dressing up would bring to the country?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
27	82	5	as they want to present themselves clean and tidy 他：87ページPart3 4行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
28	84	4	They serve as role models to follow for their children. 他：85ページ19行, 87ページPart4 3-4行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
29	100	12	expresses hand-drawn animation's texture 他：103ページ9行	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	
30	107	表 タイトル	in millions	不正確である。 (単位)	3-(1)	
31	107	中段左 4-5行	they begin to wake up in each other's bodies.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
32	108	8	本来聞こえないはずの音	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)	
33	109	6	I am writing you from Japan	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
34	112	脚注5 行	hear of～	誤りである。 (7行との対応)	3-(1)	
35	114	側注4 行	genreの発音表記	不正確である。 (子音)	3-(1)	
36	114	側注11 行	Vermeer's work	表記が不統一である。 (114ページ5行との対応)	3-(4)	
37	115	下から 1行	What famous artworks are you most interested in seeing?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
38	116	4	Vermeer expressed the effects of light skillfully 他：121ページ4行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
39	119	下から 2行	Is visiting museums to learn about art important for high school students?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
40	129	Compre hensio n2	① What time is important for curling players?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
41	132	6	When physicist Murata Jiro 他：137ページ4行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない)	固有 2-(1)	
42	139	15	1 My family moved to Osaka the	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない)	固有 2-(1)	
43	150	3 - 4	The first was considered elegant and respectable and smelled of a single garden flower. 他：155ページ2-3行	英語の現代慣用によっていない。 (and)	固有 2-(1)	
44	150	4 - 6	The other type included more stimulating fragrances created using animal musk. 他：155ページ4行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
45	160	脚注4 行	purifyの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
46	169	Vocabu lary	2. something that has the strong power to make someone do something	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
47	176	全体	Skills 5 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
48	178	2	some local dish	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
49	180	下段	gyu-don is veal on rice	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)		
50	187	中欄 11行	Keith Kellogg	表記が不統一である。 (57ページ8-9行との対応)	3-(4)		
51	188	右欄5- 6行	per capita	表記が不統一である。 (179ページ9行との対応)	3-(4)		
52	190	母音	/ɑ:r/ 他:/ɔ:r/	相互に矛盾している。 (見出しとの対応)	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	2	Lesson 1	to不定詞	表記が不統一である。 (18ページ2行との対応)	3-(4)	
2	9	右下イラスト	stinging	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	10	脚注1行	exploreの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	11	下段	1 Choose & Discuss 他：各LessonのChoose & Discuss	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
5	11	下段	2 Share Your Ideas	相互に矛盾している。 (4ページ13コミュニケーション活動との対応)	3-(1)	
6	13	9	ribbitの発音表記	不正確である。	3-(1)	
7	13	16	Q-2 What pairs of onomatopoeia are given in Table1?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
8	15	中段 Table4	kusutto warau Chuckle kusu-kusu warau giggle kusurito warau titter	生徒にとって理解し難い表現である。 (日本語と英語との対応)	3-(3)	
9	15	中段	Q-1 What kind of words are often paired with verbs in Japanese?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	15		2 Share Your Ideas	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	18	10	<否定>	表記が不統一である。 (2行目不定詞との対応)	3-(4)	
12	21	イラスト	GUU-GUU	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
13	21	下段	2 Explain your choices in a small group. Compare your choices with those of your classmates.	生徒にとって理解し難い表現である。 (your choice)	3-(3)	
14	24	5 - 6	Ikee showed extraordinary talent in swimming	英語の現代慣用によっていない。 (主語)	固有 2-(1)	
15	30	脚注1 行	comebackの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
16	36	11	Lealiifano learned that he had leukemia	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	39	Sound Studio 1	take offの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
18	42	脚注1 行	part-timeの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
19	44	脚注2 行	baobabの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
20	46	8 - 9	I not only made the sign, but I also painted his whole shop in bright colors !	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
21	47	2	Q-2 What did Miyazaki do for a barber in Ofunato?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	52	6	3 These are the actors whom [that]I like best	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
23	58	1	The world's oceans are polluted by plastic.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
24	58	脚注4行	recyclingの発音表記	不正確である。	3-(1)	
25	59	5	How do you think Slat feels about this? 他：90ページ下段、101ページ1行、157ページ脚注1行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	60	側注4行	Empire State Building	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
27	60	脚注2行	Empire State Buildingの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
28	61	1	写真のキャプション Plastic washed up	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
29	64	18	But there is no time	英語の現代慣用によっていない。 (接続詞)	固有 2-(1)	
30	65	12	Can you do without them?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
31	73	Sound Studio 2	一定の間隔をおいて反復されることによって	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)		
32	75	下段	What Do You Know about Chimpanzees?	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(10)		
33	76	脚注1行	Goodallの発音表記	不正確である。	3-(1)		
34	78	脚注1行	cruelの発音表記	不正確である。	3-(1)		
35	91	グラフ	Time it took for selected online services to reach one million users	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(10)		
36	92	脚注1行	curiousの発音表記	不正確である。	3-(1)		
37	96	脚注2行	double-checkの強勢表記	不正確である。	3-(1)		
38	107	下から2行	or to the zooの記号（下降調）	表記が不統一である。 （下から3行との対応）	3-(4)		
39	109	4 - 5	When does this happen?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)		
40	109	表	Fact File（全体）	誤りである。	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
41	109	グラフ	What Do You Know about Samoa?	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)	
42	110	22	The men, the women, and even small children	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
43	110	脚注1 行	Papalagiの発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)	
44	110	脚注1 行	Tuiaviiの発音表記	不正確である。	3-(1)	
45	110	脚注2 行	Erich Scheurmannの発音表記	不正確である。	3-(1)	
46	111	1	Q-1 What do you think is “the round metal and the heavy paper” ? 他：Q-2, Q-3, 113ページ1行	相互に矛盾している。 (4ページ11Qとの対応)	3-(1)	
47	112	7	When this time noise occurs	表記が不統一である。 (113ページQ-2との対応)	3-(4)	
48	112	15	thinking, “I don’t have time to be happy.”	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	
49	123	11	1 The following describe something	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
50	149	2 - 3	Q-2 What is the good point for ordinary people of keeping the statue at the British Museum?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
51	172	下から 11行	Mark the statements	相互に矛盾している。 (設問1.と2.との対応)	3-(1)	
52	176	側注5 行	Nicholas Kristofの発音表記	不正確である。	3-(1)	
53	177	側注1 行	grandmaster	不正確である。 (1語表記)	3-(1)	
54	180	側注11 行	Kasparovの発音表記	不正確である。	3-(1)	
55	182	側注2 行	CEOの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
56	185	側注36 行	revolutionaryの発音表記 他：190ページ脚注3行completion	表記が不統一である。 (146ページ脚注1行attractionの発音表記との対応)	3-(4)	
57	189	26	practice basics	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
58	189	脚注1 行	Lealiifanoの発音表記	不正確である。	3-(1)	
59	192	脚注3 行	Louisの発音表記	不正確である。	3-(1)	
60	193	22	AI can help us find information 他：Model WritingのAI (4箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
61	194	脚注3行	lifestyleの発音表記	不正確である。	3-(1)		
62	203	13	627語	誤記である。 (Word List A と Word List Bとの対応)	3-(2)		
63	203	15	79語	誤記である。 (203ページOPTIONAL LESSONとの対応)	3-(2)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-188		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	15	下段	For Your Information 他) 各For Your Information	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
4	16	側注1行	font(s)の[] 他: 発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	17	Think	英文に付された日本語 他) 各Thinkの英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	17	下段	Grammar (全体) 他) 各Grammar(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	22	上段	Review & Retellに付されたアイコン (2箇所) 他) 各Review & Retellに付されたアイコン (2箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
8	23	Practice	大問3, 4に付されたアイコン 他) 各Practiceの各大問3, 4に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-188		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
9	24	Listen	表内の日本語 他) 各Listenの表内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
10	26	下段	TRY① (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
11	26	下段	TRY① (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容が理解し難い。)	3-(3)	
12	40	Grammar for Use	②現在進行形	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
13	55		Vocabulary Building ① (全体) 他) 113ページのVocabulary Building ② (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
14	111	側注2行	knowledgeの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
15	149	Talk Together	問2.	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)	
16	153		大問3.	生徒にとって理解し難い表現である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)	
17	154	Step ①	英語に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
18	154 - 155		Step ③及び⑤	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-188		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
19	155	Step⑤ の表③	Actions taken, actions taken	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
20	156	脚注2 行	Timmy Willieの発音表記	不正確である。 (スペースがない。)	3-(1)	
21	163	左欄 40-42 行	The city has the Atomic Bomb Dome. It's a popular spot visited by a lot of students. Tourists can also enjoy Hiroshima-style okonomiyaki.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Hanaの会話について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-189		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	18	脚注	Dublin及びIrelandの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	23	WARM UP!	全体 他：33, 47, 57, 67, ページのWARM UP!	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
4	23	QUIZ!	全体 他：各LESSONのQUIZ! (全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
5	25	CHECK!	全体 他：各SECTIONのCHECK! (全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
6	27	SUM UP! 1行	aurura	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
7	29	大問2	TRY (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (目的・場面・状況等が示されておらず、活動できないおそれ)	2-(1)	
8	30	REVIEW!	全体 他：各LESSONのREVIEW! (全体)	相互に矛盾している。 (聞くこととアイコンとの対応)	3-(1)	
9	31	Step 2	全体 他：各LESSONのCHALLENGE YOURSELF! Step 2 (全体)	相互に矛盾している。 (やり取りのアイコンとの対応)	3-(1)	
10	53	SAY IT!	there	不正確である。 (丸印)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-189		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
11	75	脚注1行	separateの発音表記	不正確である。	3-(1)		
12	132	6	Here's your hot noodles	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)		
13	148	右欄下から3行	*舌先を上に向ける	不正確である。	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-190		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	6	脚注1行	keyword(s)の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
3	10	表下	Ghanaの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	20	下段	Read-aloud(全体) 他：各UnitのRead-aloud(全体)	相互に矛盾している。 (話すこと[発表]アイコンとの対応)	3-(1)	
5	20	下から1-2行	赤い矢印(4箇所)	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)	
6	22	12	enjoy doing it	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞)	固有2-(1)	
7	31	下から4行	1 If you are going to	英語の現代慣用によっていない。 (仮定法)	固有2-(1)	
8	34	7-8	a passive voice	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有2-(1)	
9	37	③	翻訳読み(interpreter reading)(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
10	43	側注4行	translator(s)の発音表記	不正確である。 (第1強勢が2つある。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-190		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	46	下から 2行	communication	表記が不統一である。 (同行intelligenceでは、第1強勢のある文字が赤色)	3-(4)	
12	53	側注4 行	talentedの発音表記	不正確である。 (斜体)	3-(1)	
13	63	側注16 行	overfishingの発音表記	不正確である。 (第2強勢がない。)	3-(1)	
14	87	側注1 行	Okinawan(s)の発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)	
15	90	下段4 行	purposeの発音表記 他：下段5行warの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)	
16	90	下段7 行	expectancyの発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)	
17	94	1. 下降 調	I like it. に付された矢印	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)	
18	105	下段1 行	Make POP to recommend	英語の現代慣用によっていない。 (POP)	固有 2-(1)	
19	112	側注6 行	microbialの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)	
20	126	8	(6)はほとんど同じ長さで発音されます。	不正確である。 ((6)friendshipとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-190		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
21	127		まとまりのある英文の書き方(全体) 他：143ページプレゼンテーションのコツ(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)		
22	128 - 141		Unit 9(全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(1)		
23	142	脱落	this season及び発音表記	不正確である。 (脱落の例として不正確)	3-(1)		
24	162	側注下 から4 行	funeralの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)		
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)		
3	3	右下	の教材を通して	誤記である。 (空欄)	3-(2)		
4	5	Language3行	不定詞・接続詞(that, ifなど)	表記が不統一である。 (45ページ 下段との対応)	3-(4)		
5	17	16	be a singer	相互に矛盾している。 (15行目what do you want to do in the futureとの対応)	3-(1)		
6	18	脚注3行	1. QR code	誤記である。 (出現順)	3-(2)		
7	24	14 - 15	go to bed early yesterday	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
8	28	6 - 7	I was ready	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)		
9	39	下から8行	sleep is food	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
10	50	12	～しそうだ	相互に矛盾している。 (11行目wasとの対応)	3-(1)	
11	56	脚注 3行	World Wide Webの略	不正確である。 (webとの対応)	3-(1)	
12	60		B-1 表内の日本語 他：106ページ, 120ページ, 150ページのB-1	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
13	61	下から 7行	勤務地：the location	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
14	68	側注 10行	easternの発音表記	誤記である。 (不要なスペース)	3-(2)	
15	69	下から 10行	Right, and	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	77	1	ウェイター 他：4行目	表記が不統一である。 (スクリプトとの対応)	3-(4)	
17	88	脚注 4行	Ganeshの発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)	
18	89	12	return to there	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	102	側注 6行	embarrassmentの発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
20	112	側注 2行	choreographyの発音表記 他：6行目choreographer(s), 118ページ側注19行目choreograph	不正確である。 (母音)	3-(1)		
21	148	側注 2行	straw(s)の発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)		
22	155	脚注 1行	troubledの強勢表記	不正確である。	3-(1)		
23	176	右段 下から 2行	We'll pick up the trash	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-192		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	25	Language Function	②Q. AとB 他) 37ページ②Q. B, 49ページ②Q. A, 61ページ②Q. AとB, 83ページ①Q. と②Q., 95ページ②QAとB, 119ページ①Q. AとB及び②Q. AとB, 141ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
			②Q. AとB, 155ページ①Q. AとB及び②Q. AとB			
3	55	Pronunciation Practice	4行 2. excited toの発音表記 他: 4行 3. displayed there	相互に矛盾している。 (説明との対応)	3-(1)	
4	55	Pronunciation Practice	5行 2. shows youの発音表記	不正確である。	3-(1)	
5	64		Boost Your Vocabulary with Affixes (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(2)	
6	77	Pronunciation Practice	1. Wait!の発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
7	96 - 97		Speaking & Writing (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (90-91ページ本文との対応)	3-(3)	
8	146	B. ②(c)	The Red cross	表記が不統一である。 (195ページ12行the Red Crossとの対応)	3-(4)	
9	172	Wrap Up Grammar	G-2, 3 他: 173ページG-1, 175ページG-2, 176ページG-1, 177ページG-1, 178ページG-1, 179ページG-2, 181ページG-2	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	11	コロソ	There are four people	英語の現代慣用によっていない。 (a dogとの対応)	固有 2-(1)	
2	17	写真キャ プション	photograph	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
3	19	側注	bulletの上	表記が不統一である。 (18ページ側注characteristicsの上に照らして、4) がない。)	3-(4)	
4	21	吹き出 し	How do you think?	英語の現代慣用によっていない。 (疑問詞)	固有 2-(1)	
5	37	年表	appeared(8箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (年表で使用するappeared)	固有 2-(1)	
6	43	18	How much are pizzas loved around the world?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	44	6	Risa 他：8行Daisuke, 11行Risa	表記が不統一である。 (3行Daisukeは斜体で表記)	3-(4)	
8	60	18	In Inti Raimi festival	表記が不統一である。 (16行ではthe Inti Raimi festivalと表記)	3-(4)	
9	63	脚注3 行	gazeの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
10	63	脚注3 行	avoid /	誤植である。 (スラッシュの位置)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定			
	ページ	行							
11	70	5	of eco-tour	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)				
12	74	側注10 行	botanistの発音表記	表記が不統一である。 (76ページ側注3行cropの発音表記に照らして、第一音節の母音表記が不統一)	3-(4)				
13	88	側注7 行	Amanfrom	不正確である。 (語頭の母音表記)	3-(1)				
14	88	最下行	health benefit	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)				
15	94	側注1 行	initiativeの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)				
16	94	側注4 行	earningsの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)				
17	94	側注6 行	youthの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
18	94	側注7 行	MAAHAの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)				
19	98	Step2	Step 2(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
20	106	側注14行	universalの発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)	
21	108	側注4行	introductionの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
22	108	側注10行	Kikuyuの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
23	114	Step2	Step 2(全体) 他：132ページStep 2(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
24	118	タイトル	聞こえなくなる音 他：9行文末の子音が聞こえなくなる ことがあります。 13-14行語尾の子音が聞こえなくなる ことがあります。	相互に矛盾している。 (10～19行1.～7.との対応)	3-(1)	
25	119	17	going toの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
26	122	側注2行	retrieverの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
27	122	15 - 16	Such dogs are called a “facility dog.”	英語の現代慣用によっていない。 (主語と目的語との対応)	固有 2-(1)	
28	124	側注1行	disorderの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
29	125	9 - 10	a crowded and noisy places	誤りである。 (a)	3-(1)	
30	140	側注7 行	activelyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
31	154	側注3 行	Frontieresの発音表記	不正確である。 (2つ目の/r/)	3-(1)	
32	158	脚注2 行	14. try to do	誤記である。 (行数)	3-(2)	
33	167	9	in the past one month	表記が不統一である。 (5行ではin the past monthと表記)	3-(4)	
34	181	19	a city where locates	英語の現代慣用によっていない。 (where locates)	固有 2-(1)	
35	185	5	small creatures, about 3 m long	誤記である。 (3 m)	3-(2)	
36	188	5	its enemies	不正確である。 (3行theyとの対応)	3-(1)	
37	188	最下行	allyの発音表記	不正確である。 (第2強勢)	3-(1)	
38	190	2 - 3	According to the section “Why They Glow?,” why is glowing useful in the sea than on land?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-193		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
39	190	7	glowing protect	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
40	190	27	b. The	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
41	裏見返 VII	母音3 段目	/ɑ(:)/のイラスト(2箇所)	相互に矛盾している。 (/ɑ:/との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-194		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)d「接続詞の用法」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)	
3	13	囲み8行	Do you know / why he is angry?	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (区切って読む例と誤解するおそれ)	3-(3)	
4	27	最下行	Curry was very expensive, so only rich people could eat it.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (丸印だけを強く読むと誤解するおそれ)	3-(3)	
5	40	側注7行	multi	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (単独の語であると誤解するおそれ)	3-(3)	
6	77	囲み9行	hot dog及びSit down.	不正確である。 (音の脱落の例として不正確)	3-(1)	
7	82	左囲み下	ノンバーバル・コミュニケーションの「声」	不正確である。	3-(1)	
8	93	下囲み6行	/sʊtoʊresʊ/ 他：最下行/ekʊsʊpʊresʊ/	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
9	104	4-5	because I have been encouraged by its deliciousness all my life	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
10	111	下囲み2行	IPA (国際音声記号学会) による	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-194		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	113	大問3	I saw many terrible pictures in the Dome.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (原爆ドームの中に絵があると誤解するおそれ)	3-(3)	
12	114		内容全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
13	136	11	to people in the US, it looks like an alligator	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アメリカでは月の模様がワニに見えるのが一般的であると誤解するおそれ)	3-(3)	
14	149	information 4	Apolo	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
15	158	写真左	Ohshima Port at present	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真とキャプションとの対応)	3-(3)	
16	171	脚注1 行	Dominicanの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
17	189	22	(p.140, 1.8)	誤記である。 (行数)	3-(2)	
18	189	22	use	表記が不統一である。 (140ページ10行usedとの対応)	3-(4)	
19	190	14 - 15	I like to move my body	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
20	191	24	enjoy the wonderful nature	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-195		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	49	Listening Activity	Q2. (全体) 他: 97, 113ページのQ2. (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
2	67	下段	Key Points for Expressing ③ 他: Key Points for Expressing 83ページ①②③, 99ページ②, 115ページ②③, 131ページ①②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
3	171	Activity	スピーキング (やりとり) のアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
4	172 - 179		Grammar List (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-196		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	6	14	英語らしい発音を習得しましょう 他：9ページ10行 英語らしく話すことができます 9ページ18行 英語らしく発音しよう	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
2	16	9	shiratama flour	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	16	脚注6 行	microwave ovenの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
4	19	Step1	Listen and answer 他：各LessonのStep1	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
5	19	Step2	Work with your partner 他：各LessonのStep2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
6	23	18	What do you like about them?	相互に矛盾している。 (A smartphoneとの対応)	3-(1)	
7	24	9	can never turn their phone off	相互に矛盾している。 (Many studentsとの対応)	3-(1)	
8	26	4	go to your bed	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	27	9	to the example from a to d	相互に矛盾している。 (10行目 examplesとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-196		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
10	30	B	B(will) 他：31ページB(to-不定詞), 52ページA(受動態)とB(関係代名詞), 53ページA(as)とB(比較級), 74ページA(現在分詞・過去分詞), 101ページB(関係副詞	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
)とC(強調構文), 126ページB(間接疑問文)			
11	36	脚注2行	short-termの強勢表記 他：long-term	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
12	46	23	nineteen-forties 他：68ページ脚注3行 nineteen-eighties	表記が不統一である。 (20行einhteen ninety-oneとの対応)	3-(4)	
13	48	7	E-sports are the newest 他：49ページ8行, 12行, 14行, 50ページ 13行(2箇所), 17行, 51ページ11行	表記が不統一である。 (13行目 E-sports isとの対応)	3-(4)	
14	66	13	at one set price	相互に矛盾している。 (67ページ9行at a set priceとの対応)	3-(1)	
15	68	グラフ	Changes in ticket price in three weeks	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
16	108	14 - 15	All of these items are unique, fashionable, and strong	英語の現代慣用によっていない。 (strong)	固有 2-(1)	
17	108	脚注5行	bow tieの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
18	115	10	What kind of companies	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-196		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
19	120	脚注5行	non-alcoholic beerの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)		
20	122	18	CV and cover letter 他：123ページ10行目	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)		
21	127	20	1. about a scheduled event 他：22行目	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
22	129	1	you can do nothing if the battery runs out	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		
23	129	20	How do you think	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-197		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	18	側注1行	viewの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	32	3	英語らしく読もう 他：7行、10行、25行、33ページ10行 英語らしく発音してみよう、 14行英語らしく音読してみよう	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語らしく)	3-(3)	
4	33	6	sit down	相互に矛盾している。 (「消える音」との対応)	3-(1)	
5	127	脚注1行	Hawaiiの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
6	132	6	change the hospital	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	8	側注 2行	exchangeの[] 他：発音表記の[]	不正確である。	3-(1)	
4	14		Your Turn!に付されたアイコン 他：各Your Turn!に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
5	15		One Step Furtherに付された読む活動のアイコン (2箇所) 他：27, 51ページのOne Step Furtherに付されたやりとり活動のアイコン (2箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	
6	27	大問②	エサやり, におい, 音	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
7	29	中段	「ペアになり、役を決めて会話をしましょう。」に付されたアイコン 他：53, 83, 111ページ	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	
8	51	中段	大問② (全体)	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
9	67	大問③	・7月1日の…参加したい。 ・クラブ活動…かもしれない。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
10	81		大問②	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
11	88	側注 4行	debrisの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
12	92	11	eco-bags 他：93ページ中段Grammarの同表現(2箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	106	側注 3行	gatewayの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
14	107	Grammar 5行	I usually keep this window closed even in summer.	相互に矛盾している。 (Grammar 1行「SV0+現在分詞」との対応)	3-(1)	
15	113	脚注 2行	broccoliの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
16	118	側注 7行	silkの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)	
17	129	大問①	グラフの英語に付された日本語(5箇所)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
18	129	大問①	円グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
19	139	大問②	例の英語に付された日本語	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
20	139	大問①	(1)-(4)の日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
21	141	3	ほとんど聞き取れなくなることがあります。 他：7行 I'd, 12行out, 15行get, 19行trip, 21行visitの下線	相互に矛盾している。 (「消える音」との対応)	3-(1)	
22	151		①スピーチ 他：②ディスカッション, 152ページ Let's Write!	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-199		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	4	母音1 段目	全身に力を込めて	不正確である。 (全身に)	3-(1)	
3	4	母音2 段目	i:の[] 他:発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	13	15 - 19	Let's do it!(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
5	18	側注5 行	spiritの発音表記 他:強勢のある/i/の発音表記	不正確である。 (強勢を付けた小型大文字が小文字/i/の字形になっている。)	3-(1)	
6	19	下囲み	SOUND TIPS(全体) 他:各PARTのSOUND TIPS(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
7	25	14 - 20	大問①(全体) 他:26, 39, 40, 55, 56, 71, 72, 91, 92, 107, 108, 123, 124, 159, 160, 175, 176ページのGrammar& Exercises大問①(17箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
8	35	下囲み 3行	If youの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
9	44	17 - 28	Let's do it!(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
10	47	下囲み 2行	usの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-199		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	53	下囲み 4行	hasn't 他: Why	不正確である。 (強勢を示す下線がない。)	3-(1)	
12	71	15 - 19	大問①(全体) 他: 72ページ10-20行大問①(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
13	87	最下行	out及びthat	不正確である。 (「落とす」例として不正確)	3-(1)	
14	93	下段	大問③(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
15	99	下囲み 2行	anの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
16	103	下囲み 2行	消えてしまいます。	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)	
17	105	下囲み 2行	弱く発音されます。	相互に矛盾している。 (同行first createdとの対応)	3-(1)	
18	121	最下行	an important resource	相互に矛盾している。 (下から3行「弱く発音される」との対応)	3-(1)	
19	128	21	聞こえない音	相互に矛盾している。 (22-23行(1)～(5)の問題との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調 査 意 見 書

受理番号 106-199		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
20	134	側注10行	concentration campの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
21	151	最下行	Here is	相互に矛盾している。 (下囲み1-2行との対応)	3-(1)	
22	153	下囲み1行	前の単語の終わりが…や[m]で	不正確である。 ([m])	3-(1)	
23	155	下囲み3行	That is / why	不正確である。 (スラッシュの位置)	3-(1)	
24	176		過去完了進行形(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
25	177	15 - 28	大問②(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-200		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	5	最下行	[]:発音記号 他:発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	9	25 - 26	この場合・・・多くあります。	不正確である。	3-(1)	
3	9	27	thingの下線	不正確である。	3-(1)	
4	9	27	good day	不正確である。 (①の見出し「消える音」との対応)	3-(1)	
5	9	32 - 33	はっきりした音ではなく柔らかい音になることがあります。	不正確である。	3-(1)	
6	32	1 - 2	Imagine you are drinking a coffee to go 他:36ページ17-18行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	39		Focus on Language (全体) 他:53, 67, 111, 127, 141, 155ページのFocus on Language (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
8	79	脚注5行	斜体のits 他:脚注6行, 84ページQ2, 85ページ10行の同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (斜体)	3-(3)	
9	99		Step 2 他:157ページ Step 1 及び Step 2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すことや書くことの指導に当たっては…発表, 文章などの具体例を示した上で, 生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-200		学校 高等学校		教科 外国語		種目 英語コミュニケーション I		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定			
	ページ	行							
10	129	Your Performance	全体	相互に矛盾している。 (やり取りのアイコンとの対応)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-201		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	3	下段	[]:発音記号 他:発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	11	下段	Vocabulary 他:各LessonのVocabulary	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
3	12	2	for three bills	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
4	12	3	1,000-yen 他:5,000-yen, 10,000-yen, 13ページ9行1,000-yen, 5,000-yen, 10,000-yen, 157ページ9-10行ten-dollar and fifty-dollar	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	19	下段	1840～1931 他:1853～1931	誤記である。 (12ページの年号との対応)	3-(2)	
6	28	4	900 AD 他:34ページ上段900 AD	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	28	24	Central Americaの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
8	40	6	The interior of the hospital	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	40	8	the hospital 他:8行 the hospital	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	68	20	SDGs 他:76ページ2行	表記が不統一である。 (4行the SDGsとの対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-201		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	74	側注2-3行	Q1 How have some popular tourist areas become?	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
12	75	19	A: Where do you want to travel to	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
13	84	18	absent-mindedの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
14	87	Vocabulary Box	war situation	表記が不統一である。 (after the warとの対応)	3-(4)	
15	115	19	from outside of	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有2-(1)	
16	141	Step3 4行	throw them in the trash box	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
17	142	17	You can finish the report this week ()() () today	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
18	146	24	be full of...	相互に矛盾している。 (13行目との対応)	3-(1)	
19	150	側注1行	Why did Jimmy not need his tools anymore?	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
20	158	4	hot, rainy, tropical places	表記が不統一である。 (74ページ2-3行との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-201		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
21	161	10	the home	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
22	162	23	United Nationsの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
23	163	表	あるコンビニにおける来店客の年齢分布変化	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(11)	
24	165	25	worldwideの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
25	166	[a]	あくびをするときのように口を大きく開けて	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
26	168	[θ]	イラスト	相互に矛盾している。 (説明文との対応)	3-(1)	
27	171	7 - 8	What kind of AI products can you think of	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	8 - 9		品詞、文型、句と節	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
3	11	音の連結 1.	an appleの発音表記 他: 2. good girlの発音表記	不正確である。	3-(1)	
4	21	下段	Writing (全体) 他: 57, 79, 91, 103ページのWriting (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
5	52	側注 6行	Britishの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
6	52	側注 22行	amusingの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
7	62 - 65		STEPに付されたアルファベットの記号 (7箇所) 他: 120-123ページのSTEPに付されたアルファベットの記号 (7箇所), 158-161ページのSTEPに付されたアルファベットの記号 (6箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記号の意味を理解し難い。)	3-(3)	
			ファベットの記号 (6箇所)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
8	62	下段	STEP 2	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)	
9	63		STEP 3 (全体) 他: 121, 159ページのSTEP 3 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
10	64		STEP 4及びSTEP 5 (全体) 他: 122, 160ページのSTEP 4及びSTEP 5 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
11	65	STEP 6 表左	「…関連の単語・表現」及び例 他: 123, 161ページSTEP 3表左の同表現	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
12	65	STEP 6 表右	「言いたいのに英語で言えなかった単語・表現」及び例 他: 123, 161ページSTEP 3表右の同表現	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)	
13	67	側注 8行	Susanvilleの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
14	80		G-2 他: 92ページG-2, 104, 116ページG-1, 2	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
15	85	側注 2行	Susieの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
16	108	側注 14行	demonの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
17	111	側注 11行	prefectureの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
18	134	側注 8行	Aesopの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
19	134	側注 16行	biologistの発音表記	不正確である。 (第4音節の母音表記)	3-(1)	
20	136	Interaction	If you were an ant, do you think you would immediately notice that a larva wants food?	生徒にとって理解し難い問いである。	3-(3)	
21	137	側注 6行	simulationの発音表記	不正確である。 (第1節の母音表記)	3-(1)	
22	146	側注 4行	photojournalistの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
23	163		パラグラフの構成 他：164-165ページのエッセイの構成	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
24	168	Communication Activi	6行 In my opinion, I think	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	170	Before You Read 6 行	eco-bags	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
26	折込み	発音記 号一覧 右下	母音+/r/の発音表記	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)	
27	折込み	発音記 号一覧 右下3 段	earの見出しの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	8	2	全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習方法について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	23		Vocabulary Networking (全体) 他：各CHAPTERのVocabulary Networking (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
3	82	Grammar for Communic	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
4	103	図	火星と地球との距離や時間を表す表現	不正確である。	3-(1)	
5	103	図	Length of Day (4箇所)	誤りである。	3-(1)	
6	110	大問2	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	123	STEP 4	全体	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
8	134	側注下から2行	reconstructionの発音表記	不正確である。 (第2音節の子音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-204		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	15	囲み	中段の日本語訳（全体） 他：21, 27, 33, 39, 45ページ中段の 日本語訳（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」）	2-(1)	
2	16	表上段	hamburg steak	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	18		④⑤ 他：36ページ①, 42ページ①, 48ページ②, 54ページ②, 60ページ②, 72ページ①, 78ページ①, 84ページ①, 116ページ②, 122ページ②③, 128ページ②	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （学習活動について誤解するおそれ）	3-(3)	
4	24		（全体） 他：30ページ（全体），66ページ（全体），92ページ①, 98ページ（全体），104ページ①②, 110ページ①②,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)	
5	29	表上段 5行	professional golf player	英語の現代慣用によっていない。 (golf player)	固有 2-(1)	
6	83	Expression Focus	A（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」）	2-(1)	
7	113	8 - 9	we can eat a lot without many calories	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	125	11 - 12	Especially when characters have unique voices	英語の現代慣用によっていない。 (Especially)	固有 2-(1)	
9	137 - 167		ちがいがわかる伝わる英文法（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	1	Lesson 5	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (25ページ右下 PERFORMとの対応)	3-(1)	
4	1	Lesson 9	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (37ページ右下PERFORMとの対応)	3-(1)	
5	2	Lesson 20	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (71ページ右下PERFORMとの対応)	3-(1)	
6	13	DIALOG	本文に付された日本語 他：各レッスンのDialogの日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
7	22	全体	本文に付された日本語 他：44ページ, 56ページ, 74ページ, 81ページStep1	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
8	27	PERFORM	We mustn't use our smartphone	表記が不統一である。 (最下行smartphonesとの対応)	3-(4)	
9	33	3	Akihabara finally!	英語の現代慣用によっていない。 (副詞)	固有 2-(1)	
10	33	PERFORM	例文	相互に矛盾している。 (自分の夢との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	45	Point	Point (5箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	47	EXERCISES 1	②Hoshino Gen's concert	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
13	64	QUIZ A	質問内容	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
14	84	全体	関係代名詞① 関係代名詞② 関係副詞	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」の〔具体の事項〕について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	17	上囲み	Model Dialog右欄の日本語訳(全体) 他：各LessonのModel Dialog右欄の日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
4	21	右下囲み4行	your big fan	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	23	下囲み	②forecast	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (sandwichに付された強勢に照らして、誤解するおそれ)	3-(3)	
6	25	Perfor m5行	my own business	誤りである。 (主語Heとの対応)	3-(1)	
7	31	下囲み	下降調の矢印(2箇所)及び上昇調の矢印 他：47ページSound Cornerの矢印(8箇所)	不正確である。 (矢印の形)	3-(1)	
8	35	中囲み 3-4行	But you can't break off a tree branch.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	36	中囲み	Scene右欄の日本語訳(全体) 他：52, 74, 104ページ各Scene右欄の日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
10	50	Nation al Flag	国旗の横にあるChina及びVietnamの表記	相互に矛盾している。 (国旗との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	53	Point!	Point! (7箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	53	3 Point!	I screamとice creamは同じ発音です。	不正確である。	3-(1)	
13	65	右下グラフ	グラフ	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	
14	116	下から 4行	ジップロック	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	117	下から 4-1行	例(全体)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	122	中段	Lesson 4 完了形(全体) 他: Lesson 5 受動態(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
17	133	左欄	school trip 修学旅行 school festival 文化祭 excursion 遠足	誤記である。 (アルファベット順になっていない。)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	12	9	英文の下に付された赤い丸	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (丸の大きさと色が異なるため、二段階の強さがあると誤解するおそれ)	3-(3)	
2	17	OUTPUT	1 Getting Ideasの表の日本語 他：各Getting Ideasの表の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
3	18		A 現在形・現在進行形及びB 過去形・過去進行形 他：20ページB, 38ページB, 48ページA, 58ページA, B, 68ページB, 76ページC, 78ページA, C, 86ページA, D	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
4	25	グラフ	【出典】吉川・海崎・藤原・楠奥・松原 (2018)	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
5	34	8	ninja knives	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ninja knivesをshurikenと誤解するおそれ)	3-(3)	
6	76	10	housewife	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	110	EXpress Yourself	Bの会話内容	生徒にとって理解し難い表現である。 (AのWhat kind of personという質問との対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-208		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	9	Words & Phrases 1行	excuseの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	10	Useful Expressions	表内の日本語 他：各Useful Expressionsの表内の日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
5	10	Useful Expressions 表	7-10番 他：16ページ2, 3番, 24ページ3, 5, 8, 10番, 30ページ2, 3, 6番, 38ページ3-5, 7-9番, 44ページ5, 6, 8, 9番, 52ページ4-6番, 58ページ3, 4番,	生徒にとって理解し難い表現である。 (Let's Talkの例で使われておらず、活用方法が理解し難い。)	3-(3)	
			66ページ5-9番, 72ページ1-4番, 80ページ1, 8, 9番, 86ページ1, 4, 7番, 94ページ2-4, 6, 7, 8, 9番, 100ページ4-6番, 108ページ1, 3-6, 8, 9番, 114ページ1, 2番, 122ページ5, 6番,			
			128ページ3, 5, 6番, 136ページ1, 5-7番, 142ページ3番			
6	11	右上	Let's Talkに付されたアイコン 他：各Let's ...に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンとGoalの活動内容との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-208		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
7	13	Grammar for Speaking	Exercise大問3 (全体) 他：各Grammar for Speaking and WritingのExercise大問3 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
8	17	上例文	⑦Thank you. 他：表⑦	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スピーチの長さに関わらず⑦の言葉が必要だと誤解するおそれ)	3-(3)	
9	21	Goal	表内の日本語 他：35ページStep④「●名所」, 「●その他」, 119ページStep②, ③の表内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
10	32		Grammar for Speaking and Writing 過去進行形 他：Grammar for Speaking and Writing 54(完了), 60, 68, 116(最上級)ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
11	50	イラストのMenu10行	Steake	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
12	90	Step②例	丸枠内の日本語 他：148ページ2)例の丸枠内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
13	113	Q5	What will traveling by car like in the future?	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
14	155	3)ディベートの準備	②, ③の例の日本語 (6箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-209		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	6	2	①Unitの目標 他 ⑩Check It Outのスク립ト	表記が不統一である。 (13ページUnit Goalとの対応)	3-(4)	
2	6	20	アウトプットする活動。	表記が不統一である。 (句点)	3-(4)	
3	14	11	answer the questions asked 他：各Check It Outのanswer the questions asked	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	18	部活動	cultural clubs	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	24	職業5行	craftsman/craftswoman 他：72ページ7行職業・進路	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	28	2	オンラインで学校生活の様子について返信しています 他：145ページ右欄Model2返信しています	生徒にとって理解し難い表現である。 (返信)	3-(3)	
7	36	打ち合わせ8行	残念ながら I'm afraid～	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (残念ながら unfortunatelyとの対応)	3-(3)	
8	38	Sound Tips	弱く発音される傾向があります	不正確である。 (p/tとの対応)	3-(1)	
9	51	Work It Out	A 1. our problems	相互に矛盾している。 (思い出との対応)	3-(1)	
10	60	Further Expressions	Adachi Museum of Art	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-209		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	71	Student A	our interest	表記が不統一である。 (StudentC our strengthsとの対応)	3-(4)	
12	76	最下行	Double underline	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	88	5	apartment A 他：9行apartment C, 11行apartment B, 90ページFurther Expressions apartment A	表記が不統一である。 (Think It Through Apt.Aとの対応)	3-(4)	
14	92	Sound Tips	唇を横に引いて	不正確である。	3-(1)	
15	98	Sounds Tips	/əm/	不正確である。	3-(1)	
16	106	3	60% of the Earth's surface	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
17	130	7	but are also	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	141	下段 図	years	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-210		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	6	中段	ASSISTANT・Further Activityの説明	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本課のASSISTANT・Further Activityの活動との対応)	3-(3)	
2	17	25	field trip 他：133ページ左欄最下行の同表現	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
3	29	3	The foods were delicious.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	30	4	the problem of the aging society	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
5	40	4 - 5	Tour guides need much knowledge	英語の現代慣用によっていない。 (much)	固有 2-(1)	
6	41	4	That's too bad.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
7	47	3	drawn	英語の現代慣用によっていない。 (paintingとの対応)	固有 2-(1)	
8	54 - 56		例1～例6の英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
9	63	2	You look at a loss.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
10	67	27	Not releasing your stress is bad for your health.	英語の現代慣用によっていない。 (Not releasing your stress)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-211		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	5	中段⑤ Use it	Plusは追加の活動です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
2	6	中段	ASSISTANT・Further Activityの説明	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本課のASSISTANT・Further Activityの活動との対応)	3-(3)	
3	8		Model Conversationの日本語訳 他：各Model Conversationの日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
4	29	3	The foods were delicious.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	30	4	the problem of the aging society	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
6	41	4	That's too bad.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
7	47	7	drawn	英語の現代慣用によっていない。 (paintingとの対応)	固有 2-(1)	
8	54 - 56		例1～例6の英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
9	78	枠内 右上	Mug and Coaster	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
10	113	Practi ce ①	(良い点), (悪い点)の例の日本語 (4箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-212		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	4	19	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
2	12	11	high-school life	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	16	Self- review	全体 他：各LessonのSelf-review	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
4	26	9	the Heian Shrine	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	62	18	「(ボランティア団体を)手伝って くれる生徒たち」とto help them が some studentsを修飾している。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
6	63	26	When you were a child, what did you want to be when you grew up?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	92	24	look ; come, stand	誤記である。	3-(2)	
8	96	14	Nara:That's	誤植である。	3-(2)	
9	97	21	cafe	表記が不統一である。 (librariesとの対応)	3-(4)	
10	104	上段 表	such as solar and wind	不正確である。 (renewable energyとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-213		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。」	2-(1)	
)		
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	4	19	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
4	14	Expressions Plus	4 他：22ページ3, 40ページ2, 48ページ1, 2, 3, 56ページ2, 4, 66ページ3, 74ページ4, 92ページ3, 100ページ2, 118ページ3, 134ページ3, 4	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			ジ3, 4			
5	16	Self-review	全体 他：各LessonのSelf-review	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
6	62	18	「(ボランティア団体を)手伝ってくれる生徒たち」とto help themがsome studentsを修飾している。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
7	63	24	When you were a child, what did you want to be when you grew up?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	92	24	look ; come, stand	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-214		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定	
	ページ	行					
1	6	22 - 23	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)		
2	9	中段 QA	Questions and Answersに付されたアイコン 他：各Questions and Answersに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)		
3	10	脚注 1-2行	右のページの①, ②にはどのような違いがあるでしょうか。気づいたことを…話し合ってみましょう。 他：各Grammar for Expressing Yourselfの脚注1-2行の同表現, 171ページ33行 それぞれの下線部の単語の品詞は何か、話し合ってみましょう。 , 172ページ24行 下線部が「句」か「節」のどちらかを話し合ってみましょう。	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、用語や用法の指導に偏ることがないように適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)		
4	10 - 11	脚注 1-2行	「そして、下線部を自由に言いかえて話してみよう。」及び英文①, ②	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)		
5	11	Practice	大問C (全体) 他：13, 21, 47, 49, 55, 57, 65, 67, 75, 85, 91, 93, 101, 103, 109, 111, 121ページのPracticeの大問C (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)		
6	12	Grammar for Expressions	3「Sが～にある[いる]」を表す(There+be動詞+S～) 他：20ページの4, 38ページの2, 46ページの1, 48ページの2, 54ページの4及び5, 56ページの2, 64ページの4,	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)		
7	24	右上囲み	66ページの1及び3及び4, 92ページの4, 100ページの3, 102ページの1, 108ページの2, 110ページの2及び3, 120ページの1, 126ページの2, 128ページの1	各LessonのLet's Communicate!やGoal Activitiesなどで…参考にしてみよう。 他：42, 60, 78, 96ページ右上囲みの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該ページより前のLessonから飛ばしがなく理解し難い。)	3-(3)	
8	65	28	future, because	表記が不統一である。 (51ページ13行becauseに照らして、コンマの付け方が不統一)	3-(4)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-215		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	6	コーナー名	Point 他: Part 1, 7-80ページにあるPoint	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	18	26 - 27	(4)の問題	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
4	94	14 - 28	Expressions(全体) 他: Part 2, 各LessonのExpressions(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に、又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
5	110	15	an SNS	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)	
6	146 - 152		Useful Expressions(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-216		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	14	30	the sweater my grandma (make) for me	英語の現代慣用によっていない。 (make)	固有 2-(1)	
3	17	7	daughter, which	英語の現代慣用によっていない。 (which)	固有 2-(1)	
4	20	①	アイコン(書く) 他: 24ページ①, 28ページ①, 36ページ①, 40ページ①, 44ページ①, 52ページ①, 56ページ①, 60ページ①, 68ページ①, 74ページ①, 80ページ①, 86ページ①	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
		①				
5	22	②	アイコン(やりとり) 他: 26ページ②, 30ページ②, 38ページ②, 42ページ②, 46ページ②	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
6	23	18	yesterday at 6:00 in the evening	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	25	23	「聞こえない音」	不正確である。 (state capital, said toとの対応)	3-(1)	
8	39	16	the stage set walls	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	45	24	there's is	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-216		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
10	49	③	アイコン (やりとり)	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
11	52	25	shoveling snow	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	57	16	with the dog	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	61	9	written using a computer 他：32行	生徒にとって理解し難い表現である。 (コンピュータを使ってとの対応)	3-(3)	
14	68	17	He often read 他：18行	不正確である。	3-(1)	
15	76	24	is she is that trying to take	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	77	18	I am looking forward to for your reply	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	78	14	The park (that/ where) I cleaned up	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
18	81	12	ramen 他：84ページ19行matcha	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	81	19	is different	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-217		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	20		基本文型：there文・レポート文(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
2	73	グラフ	夏の日中(14時頃)の消費電力(在宅世帯)	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
3	85	Profile	Profileの日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
4	190		How to Write an Email(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-218		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	16	4	I like K-pops.	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
3	17	Sounds	息を止め(2箇所)	表記が不統一である。 (125ページ左欄/t/ /d/では「息の流れを止めてから」と表記)	3-(4)	
4	28	A⑤	Okinawa will be wonderful.	英語の現代慣用によっていない。 (willと文脈との対応)	固有 2-(1)	
5	30	Model Dialogue	Model Dialogueの日本語訳 他：43, 69, 82ページのModel Dialogueの日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	30	Task (例)	take Q Line, transfer to R Line 他：脚注1行take P Line, transfer to Q Line	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
7	33	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
8	35	Sounds	/a/の説明(全体)	相互に矛盾している。 (124ページ左欄/a(:)/との対応)	3-(1)	
9	39	Sounds	声を出すもの 声を出さないもの	生徒にとって理解し難い表現である。 (ghの発音1行に照らして、理解し難い。)	3-(3)	
10	45	13	Daich 他：25行	表記が不統一である。 (11行では、Daichiと表記)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-218		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
11	45	14	On graduation day	脱字である。 (語注に照らして、アスタリスクが付されていない。)	3-(2)	
12	46	Task1, 2	Task 1, 2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
13	57	Sounds	I eat it every day.・・・tとiが一体化して「ティ」という音になる。	相互に矛盾している。 (つながる音1行との対応)	3-(1)	
14	62	Task1 (1)	remove lint from	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
15	71	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
16	85	Task1, 2	Task 1, 2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
17	96	B②語 注	*ceder・・・スギ	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
18	105	Sounds	にごらない にごる	不正確である。	3-(1)	
19	110	グラフ	円グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
20	111	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-219		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	13	下段	Talkに付されたアイコン 他：各Talkに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	
2	38	10 - 15	Role-Playの英文の日本語訳 他：各KEEP TALKINGの英文の日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
3	44	写真	egg & milk	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
4	55	C TASK	アイコン (書く)	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
5	56	Write	騒音	生徒にとって理解し難い表現である。 (noise pollutionとの対応)	3-(3)	
6	60	23 - 24	Yui: It gives them a sense of unity.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
7	92	下段	「国内のラッコ飼育数と施設数の推移」のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
8	106	illustrator	sell work	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	122	引用資料	食品廃棄物発生量の主要国比較	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)	
10	128	左下図	Book store	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

調査意見書

受理番号 106-220		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	判定
	ページ	行				
1	13	下段	Talkに付されたアイコン 他：各Talkに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	
2	18	18 - 24	Task 2の英文	生徒にとって理解し難い表現である。 (「Task 1で自分が書いたことを話してみよう。」との対応)	3-(3)	
3	38	中段	Role-Playの英文の日本語訳 他：62, 82, 96, 126ページのRole-Playの英文の日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
4	60	23 - 24	Yui: It gives them a sense of unity.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
5	86	14	Any problem	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
6	92	下段	「国内のラッコ飼育数と施設数の推移」のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
7	109	上段 TASKイラスト	印鑑に刻まれた「語」の文字	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)	
8	109	28	Warm Wishes.	英語の現代慣用によっていない。 (ピリオド)	固有 2-(1)	
9	110	12	one ... manner	相互に矛盾している。 (「マナー」との対応)	3-(1)	
10	130	25	the warring states period	誤記である。 (語頭の小さい文字)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

